

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業	評価者	消防総務課長	芥川 忠
消防-02 消防施設管理事業	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務	主管課	消防総務課
		関連課	
総合計画上の位置付け	分野	防災・安全	施策の方針
			消防機能の整備・充実

1 事業の目的

対象	消防職員等
意図	庁舎の老朽化による事故を防止し、公務が円滑に執行できる職場環境を確保するとともに、災害時の拠点として活用できるよう機能を維持するため。
効果	災害時の拠点となる消防庁舎の機能を維持することができる。

2 平成27年度に実施した事業の概要

・各署所の修繕、保守点検等消防庁舎の維持管理を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備 考
人 口	177,464人	177,243人	人 口	176,869人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
世 帯 数	80,368世帯	80,676世帯	世 帯 数	80,928世帯	
事業の対象者数			事業の対象者数		
運営資源状況	決算値(千円)	27,182	当初予算(千円)	17,697	
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他		その他		
	一般財源	27,182	一般財源	17,697	
人員配置数	0.5	0.6	人員配置数	1.0	
人件費(千円)	3,943	4,715	人件費(千円)	7,895	
総事業費(千円)	18,851	31,897	総事業費(千円)	25,592	
市民1人当りの経費(円)	106	180	市民1人当りの経費(円)	145	
対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す ☒ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直しの種類 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他
		事業へ統合
予算規模の方向性	☐ A: 予算規模を拡大する ☒ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 予算規模を拡大し防災拠点をいち早く修繕したいところではあるが、限られた予算内で、優先順位を付け将来を見据えた事業を展開していく必要がある。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	防災拠点の要となる施設を適正維持管理していく。	

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	老朽化が著しい消防庁舎の維持管理について、適切な修繕補修を行い諸課題を整理する。	
課題解決のために行った平成27年度の取組	限られた財源を適正に執行するため、各施設の破損状況等を把握し、優先順位をつけ修繕を実施した。	☐ 解決 ☒ 一部解決 ☐ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	修繕未実施の施設に対する維持管理方法	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	消防施設の管理					単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
消防庁舎の修繕を行い、地域の防災拠点としての機能を維持していく。	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0		
	実績値	50.0	80.0							
	達成率	50.0%	80.0%							
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	今後の公共施設再編等を勘案し、効率的な庁舎修繕を実施し、防災拠点としての機能をいじしていく必要がある。									

● 事業に関する特記事項

☐ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☐ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---